

ご挨拶

いつも貴重なお時間を、習志野市の暮らし向上にご尽力を頂きまして、心より感謝しております。また、子どもたちの教育・見守り活動へのお力添えを本当に有り難うございます。皆様の公共の精神と行動に、心より敬意を致しております。

初めてお目にかかる方もいらっしゃると思いますので、少し自己紹介させていただきます。昭和50年生まれ、43歳になります。出生地は、富山県です。現在、家族は妻、小学5年生の息子の3人家族です。私は、日本人の伝統・文化・精神・良き習慣を大事にする保守的な一面と野球で鍛えたスポーツマンでもあります。現在市議3期目であり、3期ともトップ当選させていただきました。これも沢山の皆様のご支援の賜物と感謝致しております。本当に有り難うございます。

私が政治家を志したきっかけは、25歳の時選挙のお手伝いをさせていただきました。その時肌で感じたことは、政治に対する無関心さ・政治希薄、低投票率など政治に対して失望していることです。何が悪いのか自分なりに考えた結果「責任が果たせる政治家になりたい」という熱い思いがあふれました。そして、30歳の時、会社を退職して政治の世界に一步踏み出し現在に至っております。また、政治家としての根底にある信条は、二宮尊徳翁と松下政経塾の創始者 松下幸之助氏の想いにあります。

この度、私伊藤ひろしが県議会出馬をする理由は、2つあります。

1つは、3期12年 市議の経験から、県政と市政発展との関わりの重要性を強く

認識したこと。もう1つは、市政発展を願う同志の宮本泰介市長が、私の議会で

の姿と政治活動を高く評価して下さり、県政で習志野市発展の為に、活躍を期待して下さっていることです。

候補者として私の特出は3つあると思います。

1つ、実際に、東日本大震災での震災被害を経験しました。県の応援の遅延を粒さを感じました。今後、安全安心のまちづくりを積極的に推進すること。

1つ、現役・子育て世代であります。妻の妊娠・そして育児を経験しております。子育て世代の苦勞・気持ちに寄り添い、未来の子供たちに対する財政・まちづくりに対して責任ある取り組みをすること。

1つ、市議会3期12年経験して、県政と市政発展との関わりの重要性を認識していること。以上3点です。

私が習志野市のパイプ役として、県議会でやらなければならないことは、

- 1、学習環境の向上において、学校のエアコン設置に向けた国補助金の市町村との円滑な事務手続き。
- 2、障がい者教育の充実において、県立特別支援学校中学部の誘致。
- 3、防災の向上において、葛南防災倉庫の備蓄品の増蓄。

その他、やらなければいけないことを、明確に持ち得ています。

最後に、私の信条を述べさせていただきます。4文字で表すならば、「感恩捨我」です。自然や多くの物、人の恩の中に生かされているのが私であります。このことを思うと、世のため、人のため、17万3千人・市民の為には働かずにはおられない程、心が熱くなります。私は、皆様と一緒に、子どもたちに素晴らしい未来を創ること、私たちの暮らしを豊かにすること、この2つを強く願っております。

す。そして、何よりも、社会を良くする根源は、「政治家が、政治家として責任を果たす」という、初心を忘れないことを肝に銘じて活動して参ります。まだまだ、人間としての人格・先見性・知見に至らぬ点があります、どうか皆様のご指導を頂ければ幸いです。